資料２－４

令和６年度　豊能二次医療圏病院連絡会結果（概要）

開催日時：12 月 13 日午後１時 30 分～午後４時 30 分　場所：池田商工会議所

出席病院：別添一覧

１ 地域医療構想の推進に関する意見

〇地域急性期は回復期の機能に分類されているが、急性期ではないか。地域急性期を急性期、回復期リハを回復期とした方がわかりやすい。質の違うものが同じ回復期機能として分類されると、実際に不足している機能が地域急性期なのか回復期リハなのか、分からないのではないか。

〇豊能圏域において、高度急性期・急性期病床が過剰という説明があったが、圏域内の患者だけを診ている訳ではない特定機能病院２病院は除外して考えるべき。また、高齢者救急に関わる搬送について、豊能圏域は流出超過になっており、今後増え続ける高齢者救急に圏域内で対応できない。早急に病床を増やす必要がある。

〇基準病床数について、大阪府は、線形回帰で平均在院日数を算出しているが、線形回帰式で算出すると、平均在院日数が短くなる。それを基にして算定した基準病床が豊能圏域において、正しいのか疑問である。

〇豊能圏域は、民間病院の割合が府全体に比べて低く、大阪府の中でも特殊な圏域であり、他圏域と同じように地域医療構想を議論するのは意味がない。

２ 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

（１） 公立・公的病院

●市立吹田市民病院

（病院への意見）・リハビリテーション医療は民間病院でも出来る。公立病院には民間病院ができない役割を担ってほしい。民間でできる回復期リハに補助金が入っていることが問題であり、補助金を受け取らないのであれば問題ない。

・公立病院がリハビリテーション医療をするのであれば、急性期病棟におけるリハビリをしてもらいたい。

●市立池田病院・市立豊中病院・箕面市立病院

（病院への意見）・川西市立総合医療センター、市立池田病院、市立豊中病院、箕面市立病院は距離が近く、４つの病院が集中している。一方、豊中市南部は病院が少ない。患者を取り合っているのであれば、統合や病床削減を検討すべきでは。そうでないなら、地域の中に満遍なく市民病院があるのが良いのではないか。

（２） その他、民間病院等

意見なし

３ その他

グループ別意見交換

【テーマ：病院の役割分担の在り方を踏まえた、患者の転退院状況について】

※病院機能分類や管轄保健所が偏らず、１グループが９～10 病院になるようにグループ分けをした。

●１グループ

〇転退院時の問題として、認知症・独居・遠方の家族の対応などが挙がった。独居の問題は大変難しい。老夫婦の１人に支援が必要になるともう一方は１人になる。福祉的な面で、もっと行政に介入してほしい。

〇患者の転院元の急性期病院と転院先になる事が多い慢性期病院のそれぞれの立場の意見があった。特に心肺蘇生に係る治療に関する事や、栄養管理に関する意見が出された。

〇転退前の家族への面談に院長が同席するという病院もあった。転退院前に医学的な説明が十分に受けられる場となっているとの事だった。

〇転退院調整には、病院間のネットワークが重要となる。

●２グループ

〇転退院時は、患者・家族の協力が不可欠である。

〇急性期病院の機能や転退院の必要性を示したチラシを配布している病院もある。

〇患者の意向に沿った転退院を進めるには ACP が重要である。今後、在宅医療が増えることが予測され、在宅医との連携に ACP の情報が不可欠になる。

〇回復期リハビリテーション病棟や地域包括医療病棟は、診療報酬の改定等により厳しい状況であり、要件を満たすために患者の状況や疾患によって選択しなければならない。関係者間で顔の見える関係づくりに努め、情報共有を行い、転退院を進めていくしかない。

●３グループ

〇普段から連携している病院との転退院調整は比較的スムーズである。

〇夜間休日の転院先を探す事が難しい。普段連携している病院であっても当直医が受入れを断ることがある。

〇各病院と連携を取りつつ、患者のニーズに合わせて早めに転院先を探すようにしたところ、比較的スムーズに転退院ができるようになった。

〇公立病院等の中核病院には、難渋する症例や緊急対応の受入れをしてほしい。

●４グループ

〇豊能圏域内には、急性期病院から後方支援病院への夜間転院先がなかなか見つからない。

〇急性期の民間病院が置かれている立場として、診療報酬改定により稼働率 90%以上を目指す必要がある。さらに、在院日数も短縮させる必要がある。

○圏域内に夜間転院先が無いため遠方の病院に転院させるということが急速に増えている。豊能二次医療圏の問題として考えてもらいたい。

○転退院に関して、IT をうまく活用できればと思うが、システムへの投資や人材育成が継続的に必要であり課題である。

オブザーバーからの意見

○豊能圏域は隣接する兵庫県も含めると、市立病院が密集しており、病院過多になっている地域がある。このような地域では、病院の統合や再編を考えていくべきではないか。その働きかけをするのは大阪府であるべき。病院からの自発的な検討は難しい。